

# アナリスト レポート

## 緩やかな回復基調が続いている

しがぎん  
経済文化センター  
(産業・市場調査部)

### 県内景気天気図



凡例



### 県内景気の動向

**現状** 県内製造業の生産活動を鉱工業生産指数で見ると、電気機械(なかでも電子部品・デバイス、民生用電気機械)や鉄鋼などは低下したものの、はん用・生産用・業務用機械(なかでも半導体・フラットパネル製造装置、運搬機械)や輸送機械(なかでも自動車・同ボデー)などが上昇したため、前年同月比では2か月ぶりに低下したが、前月比では3か月ぶりに上昇した。

需要面では、百貨店・スーパー販売額は全店ベースで2か月ぶりに減少し、既存店ベースも21か月連続で減少している。他の小売業態では、家電大型専門店の販売額は4か月ぶり、ホームセンターは2か月ぶりにともに減少したものの、ドラッグストアが41か月連続の増加で好調が続き、コンビニエンスストア販売額も3か月連続で増加しているため、小売業6業態計売上高は3か月連続の増加となっている。また、乗用車の新車登録台数は3か月連続で増加、軽乗用車の新車販売台数は4か月連続の増加となっている。民間設備投資の指標である民間非居住用建築物着工床面積はサービス業用で4か月連続の減少となっているものの、鉱工業用で3か月連続、商業用で6か月連続とともに増加しているため、3業用計では3か月連続で大幅に増加した。トラックの新車登録台数も6か月連続かつ大幅の増加となっている。一方、新設住宅着工戸数は持家が5か月連続で増加したものの、貸家が2か月ぶ

### 京滋の景気動向

京都府・滋賀県の景気は、緩やかに拡大している。

個人消費は、緩やかに増加している。設備投資は、一段と増加している。住宅投資は、横ばい圏内の動きとなっている。公共投資は、横ばい圏

りに大幅減少し、分譲住宅も2か月連続で大幅減少したため、全体では2か月ぶりに大幅減少した。また、公共工事の請負件数は2か月ぶりに大幅に減少し、金額は3か月連続の大幅減少となっている。

このような中、雇用情勢をみると、新規求人倍率は前月比上昇し、4か月連続で2倍を超え、就業地別の有効求人倍率は高水準が続いているものの前月比低下した。また、常用雇用指数は5か月連続で減少し、製造業の所定外労働時間指数は3か月ぶりに減少した。

これらの状況をまとめると、製造業の生産活動は在庫調整の進展がみられ、弱含みの動きではあるが上昇している。一方、需要面では個人消費や民間設備投資の一部、住宅投資、公共投資で伸び悩みがみられるものの総じて堅調に推移している。したがって県内景気の現状は、需要面での弱さはあるものの緩やかな回復基調が続いている。

**今後の動向** 県内製造業の生産活動は、9月の台風や米中貿易戦争の影響が懸念されるため、全体に弱含みの動きが続くものとみられる。需要面では、景気の先行き不透明感などから、力強さに欠けた状態が続くと考えられる。したがって今後の県内景気については、石油製品価格の高騰や株価の低迷に加え、海外経済の不確実性やそれに伴う景気の下振れ懸念などから、緩やかな回復基調に足踏み感ができると考えられる。

内の動きとなっている。生産、輸出は、増加基調にある。労働需給は引き締まっており、雇用者所得も緩やかに増加している。

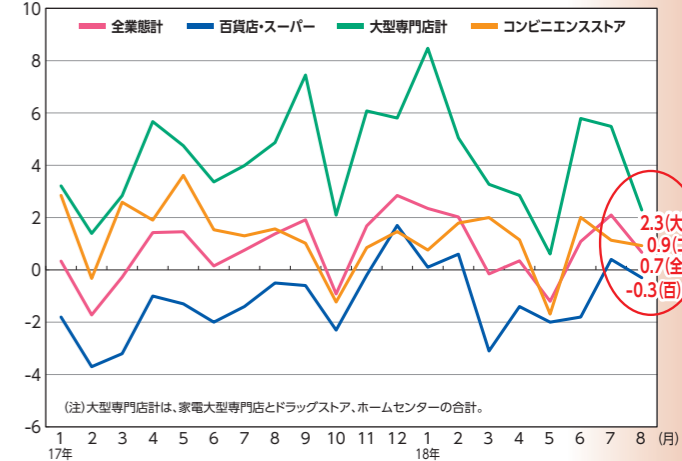
【日本銀行京都支店:「管内金融経済概況」(2018年11月9日発表)より】

### 「小売業6業態計売上高」は3か月連続で増加

- ・「百貨店・スーパー販売額(全店ベース=店舗調整前、対象店舗数は97店舗)」(8月)は、22,677百万円、前年同月比-0.3%、2か月ぶりに減少。品目別では、ウエイトの高い飲食料品は2か月連続で増加したものの(同+2.0%)、衣料品は26か月連続で減少(同-5.2%)、身の回り品は8か月連続で減少(同-1.0%)、家電機器と家庭用品はともに2か月ぶりに減少(順に同-8.1%、同-4.9%)。「既存店ベース(=店舗調整後)」では、飲食料品が2か月連続で増加したものの(同+1.4%)、全体では21か月連続で減少(同-0.7%)。
- ・「ドラッグストア」(全店ベース=店舗調整前、8月、189店舗)は、5,814百万円、前年同月比+7.6%で、41か月連続で増加、「家電大型専門店」(同41店舗)は、3,514百万円、同-1.4%で、4か月ぶりに減少、「ホームセンター」(同60店舗)は、3,100百万円、同-2.7%で、2か月ぶりに減少。「コンビニエンスストア販売額」(同564店舗)は、10,665百万円、同+0.9%で、3か月連続で増加。
- ・小売業6業態計売上高(8月)は、45,770百万円、前年同月比+0.7%で、3か月連続で増加。

・「乗用車新車登録台数(登録ナンバー別)」(9月)は、「普通乗用車(3ナンバー車)」は3か月連続で増加(1,920台、前年同月比+6.5%)、「小型乗用車(5ナンバー車)」は3か月ぶりに減少(1,415台、同-0.4%)。2車種合計は3か月連続で増加(3,335台、同+3.5%)。「軽乗用車」は、4か月連続の増加(2,316台、同+5.5%)。

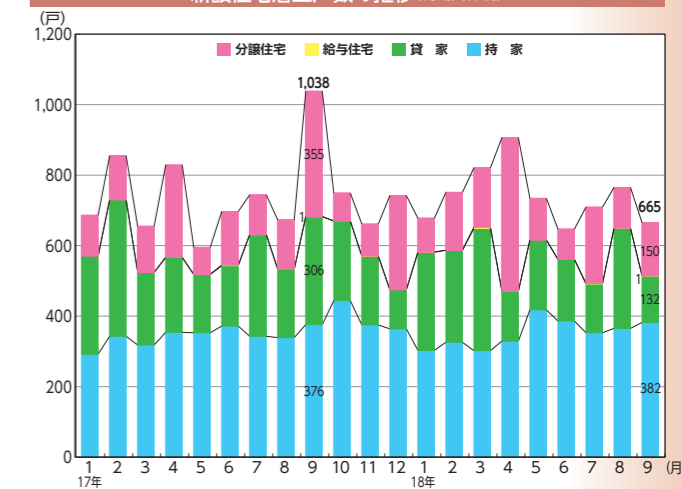
百貨店・スーパー、大型専門店、コンビニエンスストアの小売業態別販売額の推移(前年同月比・%)



### 「新設住宅着工戸数」は2か月ぶりに大幅減少

- ・「新設住宅着工戸数」(9月)は665戸、前年同月比-35.9%で、2か月ぶりに大幅減少。
- ・利用関係別では、「持家」は382戸、同+1.6%で、5か月連続で増加(大津市76戸など)、「貸家」は132戸、同-56.9%で、2か月ぶりに大幅減少(大津市31戸など)、「給与住宅」は1戸(甲賀市)。
- ・「分譲住宅」は150戸、同-57.7%で、2か月連続で大幅減少(大津市71戸など)。「一戸建て」は3か月連続で増加(106戸、前年差+16戸)、「分譲マンション」は2か月連続で大幅減少(44戸、同-221戸)。

新設住宅着工戸数の推移(利用関係別)



### 就業地別の「有効求人倍率」は前月比低下

- ・「新規求人数(パートを含む)」(9月)は、9,377人(前年同月比-7.9%)で2か月ぶりに減少、「新規求職者数(同)」は4,308人(同-16.1%)で4か月連続かつ大幅に減少。
- ・「新規求人倍率(パートを含む、季節調整値)」は前月比上昇(+0.04ポイント)の2.06倍、「有効求人倍率(同)」は前月と同じ1.39倍。「就業地別」の有効求人倍率は前月比低下(-0.04ポイント)の1.69倍で、公表値である「受理地別」の1.39倍を引き続き大きく上回っている。
- ・県内の安定所別の有効求人倍率(パートを含む、原数値)は、「彦根」が引き続き高水準の2.04倍、「甲賀」(1.39倍)、「草津」(1.36倍)、「長浜」(1.33倍)、「東近江」(1.21倍)、「大津」(1.13倍)と続く。一方、県内で最も低い「高島」は2か月連続で1倍を下回った(0.87倍)。
- ・「常用雇用指数(事業所規模30人以上、2015年=100)」(7月)は、

102.7、同-1.3%で、5か月連続で減少。「製造業の所定外労働時間指数(同)」は102.9、同-3.8%で、3か月ぶりに減少。

求人倍率の推移(パートを含む、季節調整済値)

